

10月度例会 山行報告書		報告者	津田廣一	参加メンバー	CL: 津田廣一 津田利栄子
個人		報告日	10/17		
山城	浅間山	山行日	18年10月9日(火)		
山名	前掛山				
山行目的	百名山を登る		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

ガス中のトーミの頭(7時)

Jバンド方向を眺める

10/9 (曇り後晴れ)

4:00 起床
4:45 雷電くるみの里発 (道の駅)
5:10 車坂峠登山口着
5:45 車坂峠登山口発 (中コース)
7:00 トーミの頭 1本
7:40 湯の平口 1本
8:06 前掛山登山口
8:50 途中 1本
9:20 前掛山
10:20 途中 1本
10:33 前掛山登山口
10:50 湯ノ平口
11:00 途中 1本
11:50 トーミの頭 1本
13:05 登山口着

我慢して一步、一步

避難シェルター

火山である事を認識し

〈山行報告〉7月に黒斑山へ登るも、8月30日に登山規制がレベル2から1へ緩和されたのを知り、前掛山まで登ろうと再挑戦。天候を見極めて、前日の午後に出発。夏と違い、車坂峠は寒いだらうと、麓の道の駅で車中泊。4時起床で、車坂峠の登山口を目指す。登山口へ到着もまだ暗い。焦る事もないと登山準備をしつつ、明るくなるのを待って、5時45分に出発。2ヶ月前に登った道だ。バッチリ覚えていて、気分的に余裕をもって登っていける。朝も早く、涼しくて快適だ。難なく、トーミの頭まで到達するが、ガスっていて何も見えない。前回は、浅間山がでっかくダウンと居座っているのが見えたのに、残念。少し、がっかりしたが、歩くうちに天気が回復し、前掛山登山口を過ぎると青空が顔を出す。黄色く紅葉した樹林の向こうに見えるJバンドの荒々しい風景が見事だ。前掛山へのゴロゴロした登りを、一步、一步と我慢強く登る。一気には登り切れず、たまたま1本。行動食と水分補給でエネルギーを充填し、気持ちも切換えて更に登り続ける。登山道の向きが変わると避難シェルターが見えてくる。いざの時は、この中へ入るのか?と、思いながら横を通り過ぎる。最後の登りを、我慢して登り続けると「浅間山」と「これより先、立入禁止」の標識の所に到達。ヤッター!頂上だ。握手を交わし、付近にいる人に写真を撮ってもらう。10分程度、頂上の景色を目に収め下山する事に。ゆっくりと下るも、妻の足が悲鳴を上げだし、Jバンドを含め外輪山周回コースは止め、ピストンで何とか無事に降りる事が出来た。

確認 (リーダー)
津
18/10/17
田
作成 (報告者)
津
18/10/17
田

これより先立入禁止 山頂から火口を望む 浅間山を望む(11:50)

〈リーダー所見〉
登山規制緩和を知り、登れる間に前掛山登山を決意。妻が指の手術で運動出来ず、トレーニングなしが気になったが、何とか出来るだろうと思い決行。何とか2人で登る事が出来た。しかし、やはりトレーニング不足での登山は進められない。下山の前掛山登山口手前で違和感を感じ、以後、ペースダウンしてしまった。反省、反省。

前掛山 (浅間山頂上)